

# 公文書を变更后に公開

## 出勤簿問題 蒲郡市側が認める

蒲郡市生命の海科学館の出勤簿が勤務実態と異なっていた問題に絡み、市が情報公開請求された公文書を一部変更して公開していたことが分かった。十日

の市議会予算審査特別委員会で柴田安彦議員（無所属）がただし、市側が過ちを認めた。

この問題で、柴田氏は昨年五月に出勤簿などの書類を情報公開請求。前館長が休日を振

り替え申請する書類も開示されたが、もともと館長印が押されていなかったのに、請求後に職員が押印していたという。

柴田氏は、請求直後の市職員と前館長のメールでのやりとりをその後の情報公開請求で入手し、市側は前館長に認印を郵送するよう依頼していたと指摘。「明らかに工作された」と主張した。

井沢勝明副市長は「修正はしていないが、押印したのは事実。不適切な事務だった。極めて重大な問題と受け止めている」と語った。

市は昨年、前館長の労務管理を担当していた職員二人を懲戒処分した。今回の問題発覚を受け、今月四日にもうち一人の職員を含む二人を文書訓告、監督責任のある職員二人を

口頭注意とした。  
柴田氏は「情報公開制度そのものの信頼性

に疑問が出た」と話した。

（木村尚公）